

跳ねて楽しいトランポリン

石越町JUMP (トランポリン) 愛好会

県北 大崎・登米・栗原
WIDE 水

記事についてのお問い合わせは
地域版編集室 ☎0229 (24) 6144へ

掲載エリア/古川市・加美郡・志田郡・玉造郡
遠田郡・栗原市・登米市=3市11町

メガネ・補聴器専門店 JA全農みやぎ取扱店

メガネの **ワールド**

本店/加美郡加美町 ☎0229(63)2417



楽しそつに跳躍する会員たち



子ども自分の身長ほどの高さを難なく跳ぶ



大人の手本に見入る小学生たち

登米市石越町は旧石越町時代から、スポーツチャンバラやインディアカ、トランポリンなどのニースポーツに積極的に取り組んでいる。特にトランポリンは、県北唯一のトランポリン団体「石越町JUMP (トランポリン) 愛好会」があり、活動も活発。二十八、二十九日には町内で、トランポリンの大会も開かれる。メンバーは現在、大会に向けて奮闘中だ。

石越町JUMP愛好会 能力のアップを、大人なは、一九八六年に結成さから運動不足解消や体力増れ、今年で二十周年の節 強などを旨とする。目を迎える。会員は三歳 日本トランポリン協会から五十歳までの四十二人。その多くが小学生だ。同町をはじめ、認定二種普及指導員で、め、南三陸町や一関市な 会長を務める佐藤隆さんど広域から集まる。

28、29日
石越小体育館

東北シャトル大会開催

技と記憶力で勝負

会のモットーは、トランポリンの魅力は、子どもから大人まで、すぐに取り組むこと。難しいルールは「跳躍の繰り返さない」と語る。返して、子どもな 愛好会では、競技性を重視しない代わりに、日

二十八、二十九日に石越小体育館で、トランポリンの大会が開かれる。東北トランポリン連盟主催の第一回「東北シャトル競技大会」だ。

これまで、東北トランポリン競技選手権大会の一競技として行われていたが、今年から独立し、一つの大会となった。

大会は二十歳以上が対象で、東北各県の選抜チームが団体戦を繰り広げる。今回は山形からのエントリーがなく、五県の選手約五十人が出場する。宮城の選抜チームには、会長の佐藤さんをはじめ、鈴木安宏さん(四)、高橋洋さん(五)の愛好会メンバー三人が入る。

佐藤さんは「対戦相手の苦手な技を見極めた攻めの技を交えることがシャトル競技の面白さ。来場は自由なので、多くの人に見に来てほしい」と呼び掛ける。

大会では、下位二チームと、愛好会の子どもたちが対戦する。子どもたちが公式戦に挑戦するのは初めてだが、佐藤さんは「普段の練習から遊び感覚でシャトル競技を行っている。頭の柔らかい子どもたちの方が勝つ可能性は十分にある」と期待する。

大会は、二十八日が午後一時半から、二十九日は午前九時から。問い合わせは、大会事務局の高橋さん02228(34)2442へ。



トランポリンの魅力を広げようと張り切る、会長の佐藤隆さん

本トランポリン協会認定の検定試験「バッチテスト」を、子どもたちの活動目標にしている。バッチテストは、一、二、三級の各級ごとに、腹落ち、ひねり、開脚などを審査。昨年十一月に仙台市で行われた検定試験では、石越小学校三年の鈴木美咲さん(九)と、同校六年の鈴木早紀さん(一二)が見事一級に昇級した。



愛好会は水曜日午後7時30分から9時まで、石越体育センターで活動している。会員を随時募集中